

関西聚 活動報告書

(活動名： レッツ久宝探検隊 活動日：2013. 6. 23 (日))

リーダー名：伊東 俊廣

報告者：大川 英登

参加者：(スタッフ4人 参加者16人 合計20人)

大川、伊東、山本勲、奥井(講師)、李(公園事務所)、

坂田家3人(うち子供2人)、松葉家3人(うち子供2人)、小川、少年団8人(うち子供5人)

6月23日(日)の活動内容

キノコの観察会

活動報告・次回案内・感想など

梅雨の最中でしたが丁度うまい具合に雨がやみ、ラッキーな一日となりました。

今年は晴天が続いたためかキノコの発生が少なく、大丈夫かと心配しましたが、子供達の目線で探してもらったところ8種のキノコを発見することができました。

子供達に爪楊枝で作った小さな旗を渡し、発見したキノコの場所に旗を立てるように指示し、30分ばかり林の中を探させました。

旗を持った子供達は生き生きと目をひかせ林の中を駆け巡りキノコを探し、発見したキノコに旗を立てて行きました。その後講師とともに目印の旗を目指して歩き、一つ一つキノコを見て講師に解説してもらいました。

毎年見ることの出来る、マンネンダケ、キクラゲをはじめサルノコシカケ、イヌセンボンタケなどを発見できました。

中には熱心な子供がいて、立派な図鑑を持参しており、マニアックな子供もいるものだなあと感心しました。また発見した全キノコの一部を持ち帰る子供もいました。勉強するのかな？

最後に分類上のキノコの位置、森の分解者としてのキノコの役割を話し、地球上になくってはならない生き物であることを理解してもらいました。さらに7月のセミの羽化観察会の案内をして無事終了しました。

???

キクラゲを海藻と思っていた人もいました。

生きたキクラゲはぶよぶよしており、スーパーで売っているものと全く違い(乾燥している)、初めて見て驚いた人もいました。食べられるよと言っても誰も持ち帰りませんでした。

やぶかが思ったより少なくほっとしました。

キノコ会のメンバーは出席0でしたが、梅雨本番を前に無事本伏せが終了しました。

来年秋をお楽しみに！

活動写真



奥井さん挨拶





マンネンタケ



ニセコナカヅリ



コフキササルノコシカケ



キクラゲ



イヌセンボンダケ





～キノコ会写真～



シイタケ本伏せ



ナメコ本伏せ



本伏せ終了

たくさんのご参加、ありがとうございました！

※フラウサを閉じてお戻りください☆